



# 将来のオリンピック選手を三芳から

～みよしジュニアハンドボール教室のご紹介～

今年度から、地元企業と町が協働でみよしジュニアハンドボール教室を開催しています。ハンドボールとは？野球やサッカーより認知度は低いかもしれませんが、とても奥の深いスポーツです。今回はハンドボールの魅力と、みよしジュニアハンドボール教室についてご紹介します。



みよしジュニアハンドボール教室の様子。子どもたちはまず、ボールを使った鬼ごっこなどでウォーミングアップを行います。その後、パスやシュート練習をし、最後に学年別に分かれての試合を行います。※次回は10月8日(火)に行われます。見学自由なのでぜひ一度お越しください。なお、申し込みは締め切っています。

教育だより  
問い合わせ  
生涯学習課スポーツ推進係 内線516

## 大崎 OSOL



1960(昭和35)年創部。日本リーグ2回、全日本総合10回、全日本実業団は不滅の10連覇を含む15回の優勝を飾るなど、数々のタイトルを持っている国内ハンドボールのトップチーム。

OSOLの指導者たちが教えることはハンドボールの技術だけではなく、ありません。例えばパス。パスをするときには相手がいいます。その相手がいかに受け取れば、そのあとの動きがスムーズにいけるのか、相手の気持ちを考えることの大切さをパスから学ぶことができます。また、自分たちが通う学校以外の友達ができることや、学年の違う友達ができることも大きなメリットとなっています。

みよしジュニアハンドボール教室で得ることができるのは、ハンドボールの技術だけではなく、ハンドボールの技術だけではなく、思いやりの心、諦めずに挑戦することの大切さ、人と人との繋がり、幅広い友達との交流など、たくさんあります。

この教室を受講した子どもが、ひよっとしたら東京オリンピックでハンドボール選手として出場するかもしれません。

## ハンドボールを通じて心をはぐくむ

この教室には、小学校3～6年生の男女50人が参加しています。大崎

大崎電気工業(株)男子ハンドボール部、チームのセカンドネームは大崎OSOL。日本リーグで何度も優勝を飾り、日本トップのチームとして存在しています。この大崎OSOLから直接指導を受けることができるのが、みよしジュニアハンドボール教室です。

## 日本トップチームが三芳町にある

9月7日、2020年に東京でオリンピックが開催されることが決定し、スポーツに対しての関心が日本全国で高まっています。私たちの住む三芳町も例外ではありません。

2008年の北京オリンピックの時、ハンドボールブームが起こりました。その時、宮崎大輔選手の名前を一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。その宮崎選手が所属するチーム「大崎OSOL」が三芳町内にあることをご存知ですか。

## 東京オリンピック開催で高まるスポーツへの関心

## LECTURER'S VOICE 指導者の声



みよしジュニアハンドボール教室 指導者  
矢内 浩GM  
福島県出身。現役時代は全日本代表として1988年ソウル五輪、1990年世界選手権に出場。2004年に大崎電気GMに就任。

## 三芳町からこの教室を通じてオリンピック選手や世界で活躍する選手を

みよしジュニアハンドボール教室は子どもたちにハンドボールの楽しさを伝え、身体バランスの取れた素晴らしい競技だということを実感してもらうことを目的に実施しています。将来的には今回参加している小学生の中から大崎OSOLのチームに所属してもらい、日本代表チームとして、オリンピックや世界で戦ってくれる選手が育ってもらえればと思っています。



Aチーム班長 加藤達也さん  
ゲーム練習が楽しい。シュートをもっと決められるように頑張りたいです。



Bチーム班長 佐久間優一さん  
チームをまとめて、チームワークよく、やっていきたいと思っています。



Cチーム班長 町田和稀さん  
ハンドボールが上達できるように、頑張りたいと思います。



Dチーム班長 原田脩希さん  
この教室で友達ができ、一緒にハンドボールができるのが楽しいです。

参加している子どもたちの声  
負けたくない強いチームを作る(小4)/もっと強くなりたい!(小4)/もっとルールを知りたい(小6)/ゲームで3得点以上決めたい(小5)/みんなが強いので僕も強くなりたい(小3)/ほかの学校の人々と友だちになれた(小6)/いろんな学校の子と一緒にできて楽しい。もっと上手になりたい(小5)